

各分野の専門の方々に指導してもらえたこと、多くのスタッフやサポーターが関わって下さって出来ることを嬉しく思います。出演者も賑やかで、稽古期間が楽しかったです。すごく良い作品になるのではないかとワクワクしています。時代の変化により世相や人々の価値観は変わりますが、その時代、時代で懸命に生きた人々がいたこと、また、人は繋がっているとこの作品を通して考えるようになりました。未来、希望のあるたくさんの子供たちにも観てもらいたいです。

市民キャスト 津本陽子さん



今年も親子で参加です。一に練習、二に練習、仲間を信じ、自分を信じて、最高の舞台を目指して頑張ります！！（自分に言い聞かせつつ・・・）

～～*～～*～～*～～

前回の「わが町、せんがわ」～サネアツさん～に出て、とても楽しかったので、またやりたいと思って参加しました。練習はみんなといっしょなので楽しいです。本番では、練習の成果をじゅう分出せるといいです。

親子参加市民キャスト
北原伸子さん&幸音ちゃん



僕はこの「わが町、せんがわ」に参加するとき、劇をやりたいという気持ちが強くあり、参加することに決めました。しかし、学校や塾、その他の個人的な理由であまり練習に参加することができず、自分の練習もできないし、他のせんがわの人たちにも迷惑をかけてしまい、この劇に対して失礼なことをしてしまいました。しかし、せんがわの人たちはみんな自分のことをささえてくれて、なんとか持ち直すことができました。今まで自分のことを支えてくれた、せんがわの人たちのためにも、自分のためにも、そして、お客さんのためにも、これからの練習、そして本番を頑張っていきたいと思えます。

市民キャスト 馬場光太さん



私は友人の誘いで、今回「わが町、せんがわ」～おらほの時代～のお手伝いをさせていただきました。本当に素人で何も知らない私でしたが、日々の稽古を皆さんと一緒に過ごしていくうちに、色々なことを体感し、多くのことを学ぶことができました。一つの舞台が、ゼロから始まり、一日少しずつ出来上がっていくのを見ていた時間は、私にとってとても幸せな時間でした。今回の劇でお世話になった全ての人に感謝しています。

市民サポーター・高校生スタッフ
奥秋日和さん



「わが町、せんがわ」～おらほの時代～市民スタッフ・キャストの皆さんからのひとことです。

第3回調布市せんがわ劇場市民参加演劇公演
歌舞史劇「わが町、せんがわ」

～おらほの時代（まつり）～

2014年2月8日（土）～11日（火・祝）

作・演出 末永明彦



市民キャスト最年長の
紀之井 平さん

近年、島や地域全体でアーティストを育てようと芸術祭が開かれている。仙川が文化・演劇都市となり、人が集まって何かを創造する喜びを子供達に経験させることによって新しい友達を作り将来をつくる社会人になって欲しいと考えている。

・・・そんな初夢をみた。

せんがわは、音楽大学、女子大学、都立高校に囲まれた学園都市である。せんがわ劇場を核として市民参加型演劇や新進脚本家・演出家を輩出する演劇コンクールを開催している。サッカーのJリーグはJ1、J2、J3とあるように、演劇も大学、高校、中学と裾野を拡げて、毎年一回演劇祭を催して優勝校には脚本・演出家一位入賞の作品で上演するのだ。クリスマスには、おらほ劇団と各学年の選抜者と共演して公演している。

~~~~~◇~~~~~

今年の年男のおらほ劇団の仁八です。馬と豚が競争したんだってね。そりゃトシカツインヤァ喰ったらうまかった。うまいものをつぱい食べて、喜びも楽しみも分けあい元気で笑顔で生きれば幸せに変わる。希望をのせて夢をのせて人生きつとうまくいく。我々の子供の頃は、初夢に一富士、二鷹、三なすびを見ると縁起がよいといわれた。